

# 日銀事務所長の あさひかわ経済 ウォッチ 7

## 旭川コーヒー考

飲食にまつわる旭川の代名詞といえば、ラーメン、3.6街、米どころ、酒蔵などが真っ先に浮かびます。しかし、筆者が街歩きを重ねたところ、コーヒー店も充実していると、という印象を持ちました。

筆者がコーヒー豆を購入するようになったのは、専門店のマスターによれば、かねてより旭川市内には喫茶店が多くあ

り、1974(昭和49)年頃には5条通7丁目だけでも10店ほどは軒を連ねていたとのこと。当時は全国的にも喫茶店が多く存在していた時代と

は、1はというと、必ずしもメインという位置づけではなかったようです。そのうち、価格が少々高かった中、焙煎にこだわった豆を使用し、サイフォンを使って目の前で淹

ますが、実際のところは、コーヒーを軸に、店主の思いや創意工夫などによって、店ごとに様々な特色を打ち出しながら、サービスの質を高めてきたというところがわかりま

た。その後、現在の旭川は、新規オープンする店がある一方、様々な事情により、閉店する店もありました。しかし、こうした入れ替わりを伴いながらも、旭川のコーヒー業界は、バラエティ豊かに発展しており、利用者からみると楽しさがあります。これは、個々の事業者の努力の賜物ですが、同時に、地域の魅力を高めるためのポテンシャルを秘めていると思います。

【足立祐二(あだちゆういち) 一九七三年、大分県出身。九州大学経済学部卒。金融市場局企画役、国際局企画役、ドイツ・フランクフルト事務所長、調査統計局地域経済調査課長を経て、二〇一三年、旭川事務所長に就任。

なるように思います。その点、着任から日が浅い中で街歩きをしてみると、旭川には、実に幅広いタイプのコーヒー店があることに気づかされま

す。具体的には、チェーン店と個店とに大別できますが、それぞれに持ち味を發揮しています。特に個店では、新進気鋭の力

も、その後の現在にかけては、新規オープンする店がある一方、様々な事情により、閉店する店もありました。しかし、こうした入れ替わりを伴いながらも、旭川のコーヒー業界は、バラエティ豊かに発展しており、利用者からみると楽しさがあります。これは、個々の事業者の努力の賜物ですが、同時に、地域の魅力を高めるためのポテンシャルを秘めていると思います。

す。その後、現在の旭川は、新規オープンする店がある一方、様々な事情により、閉店する店もありました。しかし、こうした入れ替わりを伴いながらも、旭川のコーヒー業界は、バラエティ豊かに発展しており、利用者からみると楽しさがあります。これは、個々の事業者の努力の賜物ですが、同時に、地域の魅力を高めるためのポテンシャルを秘めていると思います。

す。その後、現在の旭川は、新規オープンする店がある一方、様々な事情により、閉店する店もありました。しかし、こうした入れ替わりを伴いながらも、旭川のコーヒー業界は、バラエティ豊かに発展しており、利用者からみると楽しさがあります。これは、個々の事業者の努力の賜物ですが、同時に、地域の魅力を高めるためのポテンシャルを秘めていると思います。

す。その後、現在の旭川は、新規オープンする店がある一方、様々な事情により、閉店する店もありました。しかし、こうした入れ替わりを伴いながらも、旭川のコーヒー業界は、バラエティ豊かに発展しており、利用者からみると楽しさがあります。これは、個々の事業者の努力の賜物ですが、同時に、地域の魅力を高めるためのポテンシャルを秘めていると思います。